

■平成 26 年度第 4 回中仙地域協議会会議録

1 日 時 平成 26 年 11 月 21 日（金曜日）午後 2 時 00 分から 3 時 30 分まで

2 会 場 中仙庁舎 2 階 第 21 会議室

3 出席委員等

(1) 委 員（敬称略）

①出席委員（9人）

遠藤まき、草薙幸隆、熊谷 亮、高橋 一、佐々木 亨、高橋 成悦、玉井 勝壽
傳農富士夫、松塚 勝男

②欠席委員（9人）

秋山 康、金子美喜男、児玉 誠良、佐々木正一、柴田真樹丞、高橋 泉、高橋 久逸
寺田 文夫、柳田 トシ

(2) 市職員（6人）

足達 隆支所長、伊藤政子市民サービス課長、高橋正由農林建設課長、
草薙祐喜中仙公民館長、佐藤朋尚農林建設課参事、草薙栄良農林建設課参事、
佐藤吉一農林建設課参事、佐々木英樹総合政策課副主幹、齊藤義則（事務局）

4 地域協議会内容

【開会】

開会を宣言

【会議の成立】

事務局から出席委員が 9 人で 2 分の 1 以上の出席があることから、地域協議会が成立する旨を報告した。

【傳農会長あいさつ】

このように人数は少ないですけれど、滅多にない好天気のところ、そしてまた皆さんお忙しい中、会議に御出席いただきまして本当にありがとうございました。先般、降雪もあった訳ですが、冬が近づいてきたなと思ったわけでありましたが、近日の好天気続きでどうやら降雪はもうちょっと先になるのではなかろうというふうに思っております。このような天気が続けばなと願うところですが、そう簡単には許されないという訳でございます。

さて今、国内では衆議院が解散されるか解りませんですけども、そのようなムードで師走になりますと市の職員の方々、そして我々一般国民のいろんな面で多忙な日々を送られることと思います。何のために解散するのか私たちは理解に苦しむ訳でございますが、いずれにせよそのように判断するならば、それに従っていかなければならないと思っております。

今日は地域予算と市の方からの提案事項あるようでございます。皆さんから忌憚のない御意見をいただきまして、市の方に換言して参りたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。開会にあたり一言あいさついたします。よろしくお願いいたします。

【足達支所長あいさつ】

本日はお忙しいところ御出席いただきまして誠にありがとうございます。先程、会長からありましたとおり、選挙は12月2日公示、14日の投開票になるようです。大変慌ただしい年末になるのだなと思っております。

さて平成26年度も早いもので残すところ後1ヶ月ちょっととなっております。この時期になりますと雪対策と新年度の当初予算編成が業務の大きなウエイトを占めるというふうなことでございます。

11月7日には安全・円滑そして統一的な除雪作業を実施するために中仙地域除排雪会議を開催し、担当業者さんとの意思統一を図ったところでございます。そして一昨日の19日には平成27年度当初予算編成方針の説明会が開催となったところでありまして、歳入におきましては、市税が米の概算金下落に伴う減収が見込まれる。その他、普通交付税は合併裁定後の逡減が27年度から適用されるということで、大変厳しくなるということでございます。そのようなことから一般財源を充てる歳出予算について、平成26年度当初予算比較で義務的な経費を除きまして15%カットしなさいというふうな指示を受けまして、大変厳しい状況であると認識しております。予算は市民の皆様のためにあるということを再確認しながら創意・工夫を凝らして予算編成にあたりたいと考えているところでございます。

それでは前回、9月16日の第3回地域協議会で地域枠予算として御承認頂いた資料の状況等を御報告させていただきます。まず、実施類型1型として御承認頂きました「著名人に生き方を学ぶ集会」開催事業他8事業につきましては11月中旬まで完了してございます。また実施類型II型として御承認頂きました「呑川側溝修繕事業」につきましては10月中旬に完了してございます。「上大蔵児童遊園内支障木整枝事業」は近日中に完了見込みでございます。次に第3回中仙地域協議会開催後の中仙地域の主な動きでございますが、9月21日の月曜日ですけれども八乙女公園の平和塔において大仙市遺族連合会中仙地域遺族会の主催によりまして中仙地域平和塔慰霊祭が厳かに行われております。10月に入りまして下鶯野の佐々木郁子さんが1日付けで人権擁護委員に再任されております。同じく1日でございますが、八乙女山を守る会の熊谷勲会長が緑化運動の貢献が認められ、東北・北海道地区緑化推進協議会緑化候補者表彰を受けてございます。18～19日は第27回目になります全国ジャンボうさぎフェスティバルを開催してございまして、うさぎの出品数は県内並びに県外の宮城県、栃木県、愛知県からの83頭で、来客数は6千人余りを数え、盛会裏に終了してございます。因みに本年の体重ジャンボは清水地区、伊藤ヨシオさんが出品されて「エリコヒメ号」で9.95Kgでございました。そして30日の木曜日でございますが、仙北ふれあい文化センターにおきまして金婚式が行われました。大仙市全体では、61組の申し込みがございまして、そのうち中仙地域からの参加は5組でございました。

11月に入りまして、1日はドンパンふるさと中仙会主催の「ドンパンなべっこ会」が東京都江戸川区の葛西臨海公園で開催され、生憎の雨でございましたが、40名余りの参加者で和気あいあいの中終了してございます。当所からは伊藤市民サービス課長他職員1名が参加してございます。翌2日でございますが、座間市の座間中学校グラウンドを会場に開催された第29回座間市民祭りの大仙市特産物販売事業については農林建設課職員2名、市民サービス課職員2名その他、物産中仙、JA秋田おぼこ中仙営農センター等が参加し、地元座間市のみなさんの協力を得ながら、大仙市の特産品の販売・アピールを行いまして、きりたんぼが昼早々に完売する等、大変好評を得てございます。4日は平成26年秋の叙勲伝達式が県庁で行われまして、中仙地域からは消防功労として鍵見内地区の元中仙町消防分団分団長の鈴木健朗氏、上鶯野地区の元中仙町消防分団分団長の富岡初男氏が瑞宝単光章をそれぞれ受賞されております。まことに喜ばしい限りでございます。そして、豊川地区の鈴木清仙さんが会長で、本日は都合により欠席してございますが、金子美喜男さんをク

ラブマネージャーとしまして、スポーツを核とする健康づくり事業等の地域活性化モデル事業を実施しようとする「中仙スポーツクラブ」が秋田県総合型地域スポーツクラブとして6日付けで県知事および県体協協会会長認定を受けてございます。今後の活躍が期待されております。

以上、御報告させていただきましたが、委員の皆様におきましては今後とも様々な御助言や御指導をお願いします。本日はよろしくお願いたします。

【新市建設計画（大仙市まちづくり計画）の変更について】

（説明者：総合政策課副主幹 佐々木英樹）

合併特例債の期間延長に伴い、新市建設計画の変更が必要であり、地域協議会の承認が必要なことから、別紙「地域協議会資料」に基づき説明された。

○質疑・応答

傳農会長 今、ご説明があったように5年間は毎年95%を事業した場合は借金しても良いよということですか。

佐々木副主幹 全ての事業が合併特例債を発行できる訳ではなく、計画書上で合併特例債が当てはまるような事業であれば、その合併特例債という全体の対象事業の95%は借金できるということですよ。

傳農会長 そのうちの70%は国が負担するということ、したがって儲けたという感じがする。

佐々木副主幹 国から補助していただけるということで、実際は全体の3割ぐらいで事業ができるということですよ。

足達支所長 国の方から今言った率でお金が入りますねということですよ。それだからと言ってガツガツ使うというものではないという縛りを付けながらということでありまして。

松塚委員 ある意味、限られた事業しか認められない訳ですか。

足達支所長 総合計画をそのまま引き継ぐという形で、新市の建設計画としますということでございます。今までの大きい計画というのがありまして、そのストーリーを新市の建設計画という形に置き換えてその中で必要なもの、例えば26年度で事業は終わりではなく、まだまだ先にやるものがある訳でして、それに合併特例債をまだ使えるのであれば、今まで一般財源で使わなければいけなかったものを、こういう風なものを使って、なるべく市の負担を少なくして事業をしていく流れを作りたいということでございます。

傳農会長 そういうものを使えば、別に15%返すとすれば必要のないものにも感じますが。簡単に考えれば。

佐々木副主幹 ただ、借金するにしても総枠というものを国の方で決めておりまして、むやみやたらに大仙市も借金できない訳であります。

足達支所長 借金は返さなければいけない訳で、その50%を返していくのか、25%でいいのかという数値的なもので、これは少なければ少ないほど良い訳であります。

傳農会長 その交付金というものは人口割もあると思いますが、そういう中で大仙市の人口推移を見ますと、現在9万人いないぐらいですが、31年度には6万人になるのではないかと説明が前にありました。そういう風になれば交付金そのものも人口割で何億か解りませんが、かなり下がってくる可能性もある訳ですね。

足達支所長 合併算定替えという言葉で説明してくださった訳ですけども、だんだん人口が減ってくれば、当然のことながら算定根拠となる数字も減って、金額も下が

ってくるという流れはあると思います。そういう中で、今、有利な起債を借りることによって、市の一般財源の負担が少なくなり、将来的な借金の返済をするにしても、後からなりますねということでもあります。

草薙幸隆委員 この計画変更の理由という中に、東日本大震災後ということでありまして、直接的にはこれが原因でということ、この延長になったことですね。

佐々木副主幹 そうです。本来だと今年度でこの合併特例債の発行は終わりで、震災があったから5年間、被災した所は10年間延長になりました。被災した所は今までの計画通りは進まないだろうということからです。必ず使わなければならないということではなく、発行可能期間です。

足達支所長 なんでもかんでも借りるということではなく、取捨選択しながら有意義なもので借りられる状態を作りましょうということ、それがために5年間の延長の計画の文言を変更しなければならないということです。そういうことで御了解をお願いしたいと思います。

佐々木亨委員 合併しないでしまったという市町村はどうなっていますか。

足達支所長 合併特例債は使えず、それぞれ自前の自主財源とか、綿密な計画の基に交付税等を使いながら事業を行っています。人口減で職員も減る中、相当厳しい財政状態にあると思います。他に質問がなければこれで了承ということをお願いします。

委員一同 解りました。了承します。

【議題】

(1) 会議録署名委員の指名

会長が高橋一 委員及び高橋成悦 委員を指名、了承された。

(2) 地域枠予算事業について（説明者：伊藤市民サービス課長）

実施類型Ⅰ型（市が主体となる事業）

1. 桜テングス病枝除去及び環境保全事業

事業の目的 … 八乙女公園等地域内の桜環境保全のため、桜守りボランティア活動を支援する。

事業の内容 … 八乙女公園等の地域内桜環境保全を図るため、桜テングス病感染枝の除去作業等。

事業費 … ￥800,000円（賃金）

実施類型Ⅱ型（地域団体と市の協働事業）

1. 楽しい芸術文化の集い事業（「楽しい芸術文化の集い」実行委員会）

事業の目的 … 中仙地域芸文協会員43団体が芸術文化の発展振興のためと、日頃の練習の成果を市民に発表するとともに会員相互の交流を図ることを目的とする。

事業の内容 … 芸文協中仙支部加盟団体の芸能発表並びに芸術作品の展示。

日 時：平成26年10月12日（日）

午後12時から午後3時半まで

場 所：中仙市民会館 ドンパル

規 模：300人程度

入場料：無料

事業費 … ¥215,590 円（市の負担 215,590 円）

（会場使用料 11,280 円・設備使用料 47,710 円・音響照明料 129,600 円・チラシ印刷代 27,000 円）

2. 上野口児童公園内支障木整枝事業（清水上野口集落）

事業の目的 … 公園内にケヤキ・杉・松・桜などの大木が多く、枝や葉が近隣の車庫や小屋等に散乱しており、自動車の通行や歩行者にも危険をおよぼしているため、これら樹木の整枝剪定を行い、児童公園の環境整備を行う。

事業の内容 … 支障木の整枝作業と処分場への運搬処理。

事業の開始は 11 月下旬から 12 月上旬。

事業費 … ¥215,525 円（市の負担 166,925 円、自治会負担 48,600 円）

（作業員@17,200×4 人=68,800 円、高所作業車代@20,000×2 日=40,000、回送費@10,000×2 回=20,000 円、諸経費 25,760 円、消費税 8% 12,365 円）

会長 それでは、実施類型 I 型の「桜テングス病枝除去及び環境保全事業」について皆様から御意見・御質問賜りたいと思います。

草薙幸隆委員 時期的にはいつ頃ですか。

市民サービス課長 実を言いますと高橋賢人さんへの年間の形でこれから支払うものであります。

草薙幸隆委員 作業時期はいつ頃ですか。

市民サービス課長 年間通してです。

玉井勝壽委員 80 万という数字はテングス病の当たり年だけですか。

市民サービス課長 毎年です

玉井勝壽委員 80 万円という数字も毎年ですか。

市民サービス課長 いいえ。昨年は予算が無くて地域枠予算の残ったところを賢人さんということで 50 万ぐらいでした。あまりにもそれではということで、今年の緊急時の部分を除いても、まだ少し余裕があるということで、80 万円予算があるうちに支払わなければいけないということで、その金額を出しました。

玉井勝壽委員 年間で金額を出したということですが、どれだけ作業したかとかはないのですか。

市民サービス課長 年間の作業をしてもらうことに対しての賃金です。

玉井勝壽委員 その 80 万円分作業したかという確認はしていますか。

市民サービス課長 作業日誌等で行っております。

玉井勝壽委員 予算がなければ「これだけまけてくれ」等値段交渉したことは。

市民サービス課長 前はそういうことがあったみたいです。

玉井勝壽委員 高い安いということでなく、それが妥当だという考え方なんです。

市民サービス課長 市で定められた賃金がありますので、それに基づいて支払っています。

佐々木亨委員 この作業の他にも「うそ」の駆除も猟友会で頼んでおる訳ですが、これはその 80 万円の予算には入ってないですね。

市民サービス課長 入っておりません。

傳農会長 これは「八乙女山を守る会」とはまた別のことですね。

市民サービス課長 はい。別のものです。

松塚勝男委員 今の話ですが、私達が小さい時は物凄い山で桜で全山真っ白で、こういう山は全国にないと褒められていたのですが、いつの間にかああいう風になってしまいました。これは自然になっていくものか、それとも環境が変わればああいう風に山が変わっていつてしまうのか、その原因は分かるものでしょうか。

支所長 私が聞いたところによりますと、土持（つちもち）が悪いそうです。岩があつてその上の土が非常に流れやすい状態になっているらしいです。土の層が薄いため、だんだん木に力がなくなってしまうことによるものです。研究者や「八乙女山を守る会」でも新しい苗木を植えたりして色々手当はしてくれております。だんだん手当をしているうちにまた元のような形にはなる可能性はある気はしております。

松塚勝男委員 当時は道路が有るか無いかの狭い道路で、山が崩れるということはなかった気がします。整備すればするほど山の形が変わって、寿命がなくなる感じがします。

支所長 きちっと手当をすればするほど、金額が必要になり、やらなければ一番良いのでしようけれども。公園全体という捉え方をして、まず危険個所をどうするのかとか、昔のイメージに近づけるために何をどうするのかということ、県でも1回手を入れてくれたのですが、総合的に整備しなければならないということです。市やボランティア等でも綿密な計画を立ててやる必要があると思っております。

傳農会長 では、この件は申請通り認めます。

傳農会長 それでは、実施類型Ⅱ型の地域団体と市の共同事業ということで芸文協からの「楽しい芸術文化の集い事業」について皆様から御意見・御質問賜りたいと思えます。

玉井勝壽委員 事業内容は良いのですが、音響とか照明料、我々なかなか解らないところですが、このくらい掛かるものなんでしょうか。

傳農会長 特別な技術を要するもので、1人3万から5万円かかり、設備そのものが大仙市でも1位、2位を争うもので、素人が手を入れられず、それなりの技量が必要だからです。外注になりますが、この金額でもかなり勉強してもらっております。

草薙幸隆委員 私も経験がありますが、その前日にライトのセッティング等準備やリハーサルがその前日になることもあったりするために、高額となるみたいです。

傳農会長 では、この件も申請通り認めます。

傳農会長 次に「上野口児童公園内支障木整枝事業」ですが、質問・御意見お願いします。

傳農会長 御意見がないようですので、この件も申請通り認めます。以上で地域枠予算は申請通り全案件、承認いたします。

傳農会長 参考までですが、これまでの状況で地域枠予算の残り、53万5千円ということです。地域枠予算の件はこれで終わります。

【その他について】

事務局から12月6日にドンパルで開催予定の大仙市地域協議会委員研修会について再度、説明と出席のお願いをした。


草薙幸隆委員より大仙市の情報推進協議会としての「コミュニティFM」の進捗状況と来年3月に実施される「大仙市誕生10周年記念式典」の2件の説明があった。

農林建設課長より八乙女公園と十六沢公園の桜の木の状態と、市道の穴等の状況、来年度の道路補修予定の説明報告と意見交換があった。

傳農会長 他にありませんか。ないようですので、これで散会したいと思います。本日はどうもありがとうございました。

平成 26 年 11 月 21 日

会議録署名委員

委員 高橋 成悦 

委員 高橋 一 